

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】令和3年3月18日(2021.3.18)

【公開番号】特開2018-190717(P2018-190717A)

【公開日】平成30年11月29日(2018.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2018-046

【出願番号】特願2018-85673(P2018-85673)

【国際特許分類】

F 2 1 S	41/47	(2018.01)
F 2 1 S	45/47	(2018.01)
F 2 1 V	29/503	(2015.01)
F 2 1 V	29/70	(2015.01)
F 2 1 W	102/135	(2018.01)
F 2 1 Y	115/10	(2016.01)
F 2 1 Y	115/15	(2016.01)
F 2 1 Y	115/30	(2016.01)

【F I】

F 2 1 S	41/47
F 2 1 S	45/47
F 2 1 V	29/503
F 2 1 V	29/70
F 2 1 W	102:135
F 2 1 Y	115:10
F 2 1 Y	115:15
F 2 1 Y	115:30

【手続補正書】

【提出日】令和3年1月27日(2021.1.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ランプ組立体で使用するためのヒートシンクであって、前記ヒートシンクは一体型の本体を含み、前記一体型の本体が、

第1平面内にあり、光線を放出するための少なくとも1つの光源を受けて支持するよう適合されている第1部分と、

前記第1平面に略直交する第2平面にある第2部分であって、前記第1部分から第1方向に延び、前記ランプ組立体のハウジングに取り付けられるように構成されている、前記第2部分と、

前記第1平面に略直交するとともに前記第2平面に略平行な第3平面内にあり、前記第1部分から前記第1方向に延びる第3部分であって、前記ランプ組立体の外に向かう前記光線の少なくとも第1部分を遮断するとともに前記ランプ組立体の反射面に向かう前記光線の第2部分を遮断しないように構成された遮蔽体として構成されている、前記第3部分と、

を備えているヒートシンク。

【請求項2】

前記第3部分が、前記ランプ組立体の非光学面に向けて投射された光線を遮断するよう構成されている、請求項1に記載のヒートシンク。

**【請求項3】**

ランプ組立体で使用するためのヒートシンクであって、前記ヒートシンクは一体型の本体を含み、前記一体型の本体が、

第1平面内にあり、光線を発する少なくとも1つの光源を受けて支持するように適合させている第1部分と、

前記第1平面に略直交する第2平面内にあり、前記第1部分から第1方向に延び、前記ランプ組立体のハウジングに取り付けられるように構成された第2部分と

前記第1平面に略直交するとともに前記第2平面に略平行な第3平面内にあり、前記第1部分から前記第1方向に延びる第3部分であって、前記光線の少なくとも一部を遮断するための遮蔽体として構成されている、前記第3部分と、

を備え、

前記ランプ組立体は、反射面を有し、

前記第3部分は、前記反射面から遠ざかるように投射された光線を遮断するように構成されている、

ヒートシンク。

**【請求項4】**

前記第3部分は、前記反射面から遠ざかるように前記ランプ組立体の外に投射された光線を遮断するように構成されている、請求項3に記載のヒートシンク。

**【請求項5】**

前記第2部分が前記第1方向に第1の距離だけ延び、前記第3部分が前記第1方向に第2の距離だけ延び、前記第1の距離が前記第2の距離よりも大きい、請求項1に記載のヒートシンク。

**【請求項6】**

前記第3部分が、前記第1方向に延びるように曲げられた前記ヒートシンクの形状の断面を有している、請求項1に記載のヒートシンク。

**【請求項7】**

前記第1部分がタブ部分を備え、前記タブ部分の各々が、前記第1平面に略直交するとともに前記第1方向と略反対の第2方向に延びている、請求項6に記載のヒートシンク。

**【請求項8】**

前記タブ部分の各々が、前記第2方向に延びるように曲げられた前記ヒートシンクの形状の断面を有している、請求項7に記載のヒートシンク。

**【請求項9】**

ランプ組立体で使用するためのヒートシンクであって、前記ヒートシンクは一体型の本体を含み、前記一体型の本体が、

第1平面内にあり、光線を放出するための少なくとも1つの光源を受けて支持するように適合させた第1部分と、

前記第1平面に略直交する第2平面内にあり、前記第1部分から第1方向に延び、前記ランプ組立体のハウジングに取り付けられるように構成された第2部分と、

前記第1平面に略直交するとともに前記第2平面に略平行な第3平面内にあり、前記第1部分から前記第1方向に延びる第3部分と、

を備え、

前記ランプ組立体は反射面を有し、前記第3部分は、前記反射面から遠ざかるように投射される前記光線の少なくとも一部を受けるように構成されており、

前記第3部分は、光線の前記一部を受ける面を有し、この面が、受けた光を前記反射面向かわせるように構成されている、ヒートシンク。

**【請求項10】**

前記第3部分が、湾曲した形状、段付きの形状、および非対称な形状のいずれかを有する縁部を有する、請求項9に記載のヒートシンク。

**【請求項 1 1】**

前記第3部分が、湾曲した形状、段付きの形状、および非対称な形状のいずれかを有する縁部を有する、請求項1に記載のヒートシンク。

**【請求項 1 2】**

前記第3部分が、湾曲した形状、段付きの形状、および非対称な形状のいずれかを有する縁部を有する、請求項3に記載のヒートシンク。